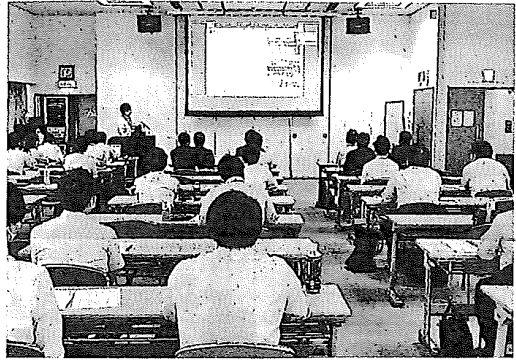


最優秀賞に清水奨伍氏

九州建設 若手技術者交流会で発表



（二社）建設コンサルタント協会九州支部は30日、福岡市の八重洲博多ビルで令和3年度若手技術者交流会「写真」を開催した。10組11人が携わった業務などについての発表を行い、清水奨伍氏（㈱オリエンタルコンサルタント九州支社）の「都市高速道路における事故対策検討」が最優秀賞に輝いた。

同交流会は、業界を背負う若手技術者の人的ネットワークを構築し、コンサルタントとしての

は「昨今は、建設業界全体の効率化が求められている。次世代に新たなソリューションを提供することへの努力の必要性を認識し、コミュニケーションを一層高め、取り組んでいく必要がある。交流会を初心ややりがいを振り返る機会としてほしい」とあいさつ。発表会では、10組11人の若手技術者が、経験した業務で得られた知見や、思い描く理想の技術者像、これからの建設コンサルタントの在り方について発表。

審査の結果、清水氏が最優秀賞を受賞し、野村泰輔氏（㈱東京建設コンサルタント九州支社）の「近年濁水を踏まえた濁水タイムラインの策定に向けて」、小材隆文氏と古川海人氏（ともに九州建設コンサルタント㈱）の「治水事業における環境配慮の取組み」が優秀賞に輝いた。